



穴吹川

●穴吹町エリア

世界的偉人のまち

古代神話から
世界的偉人まで
ロマンただよう清流の地



岡本監輔石碑

この地の歴史は古く、6世紀から7世紀にかけての尾山古墳や三島古墳群も有し、朝廷の祭祀さいしに関係していたという土地柄です。「神明神社」には、神代記にいう「磐境いわさか」の類と推測される石積みがあります。その神明神社を奥社とする「白人神社」は、保元の乱後、讃岐に流された崇徳上皇を訪ねた源為朝が相栗峠で弓を引き、その矢が落ちた場所という伝説があります。

また、天長5年(828)に開創という本楽寺は、京都仁和寺の末寺で、室町時代の阿弥陀如来像が、本尊、吉野川を借景とした枯山水の庭が造られました。「恋人峠」では、源平屋島合戦で落ち延びた平家の若武者が恋人の姫君と泣く泣く別れたと伝えられています。

この地は、世界的な偉人の出身地でもあり、医学界に多大な貢献をした三宅速(はやり)博士は穴吹町舞中島の生まれで、生前に親交のあった物理学者アインシュタイン博士が、その死を悼み、自筆の哀悼文を寄せられました。光泉寺境内のアインシュタイン友情の碑にその碑文が刻まれています。また、樺太開拓で知られる幕末の探検家、岡本監輔は天保10年(1839)に穴吹町三谷で生まれました。27歳の時に単身カラフトに渡り、その全海岸を踏査、53歳の時にもエトロフ島に渡っています。明治27年(1894)から3年間は、旧徳島中学校の校長となり、郷土の青少年を強く感化しました。



水車の里 吊り橋

ふるさとワンポイントガイド



西沢村づくり推進協議会会長
元山 勝市さん

山あいのこの地では、人々が肩を寄せ合い、強い絆で結ばれて生きて来ました。その思いが形になったのが、昭和40年ころから、すでに活動が始まったこの村づくりの組織です。

空も水も清らかな、この地の良さを守り、魅力を発信するために「水車の里」を整備しました。休校の学舎を、高齢者の集いの場にも話し合っています。



水車



アインシュタイン友情の碑



恋人峠



本薬寺の枯山水